

ボランティア  
第8次

# 東日本大震災救援募金のお願い



石巻市へ

## ボランティア募集、支援物資も

日程

3月17日(土)夜 発

3月20日(祝)夜 着

炊き出しと物資のお届け、要望聞き取りなどの活動です

募金、物資提供など、ご連絡いただければお伺いします。整理の都合上3月13日まで受け付けます

この間7次にわたり58名が石巻市を中心にボランティアに参加しました。

支援物資の提供は180人の方から寄せられました

港地区委員会 3455-0051

FAX 3455-0054

メール jcp\_minato@ybb.ne.jp

港区議団 3578-2945

FAX 3578-2947

メール mail@jcp-minatokugidan.gr.jp

救援募金 240万円 ご協力に感謝します

支援物資はすべて現地にお届けしました。募金は、お米や野菜、炊き出しの材料、業務用ガス炊飯器、物資輸送のレンタカーや宅配便などで活用しています。

引き続き、米、野菜を中心に仮設住宅へお届けします。

## ボランティア報告会

2月16日(木) 18時半～20時半

2月20日(月) 14時～16時

会場 三田いきいきプラザ (旧 三田福祉会館)

(同じ内容です。都合の良い日にご参加ください)

被災地の実態と7回のボランティア活動の報告です。

写真や映像も用意します

みなと民報

2012年1月26日 号外 日本共産党港地区委員会は東日本大震災へのボランティア参加を呼びかけると発表しました。発行 みなと民報社 / 海岸2-4-12 / 責任者 / 栗橋伸次郎

# 日本共産党 第7次ボランティア活動報告 石巻 1月20日～22日

日本共産党港地区委員会は、1月20日から22日まで石巻市の「日本共産党 震災・救援センター」を拠点に、8名が第7次ボランティア活動を行いました。

雪とみぞれの中のボランティアでした。

初日の20日は、昼に現地救援センター到着。翌日の炊き出しの材料買いだしと食材の洗い、皮むき、カットの後、カレールーを入れる前までの作業を行いました。

## カレーライス250食 被災者もスタッフで活動



大好評のカレーとみそ汁

21日は、前日の続き。カレーライスとみそ汁250食です。前日に煮込んでありますから、火を通してルーを入れスムーズに進みます。みそ汁は、キャベツと油揚げです。甘くておいしく出来上がりました。

開成仮設住宅11号団地は、240世帯で、近隣の仮設にも声をかけますから、かなりの人数が集まり、行列がずっと続いて、ついに250食分がすべてなくなってしまうました。最後の20人くらいが、カレーが不足。大変申し訳ありませんでした。後の反省会で、たとえカレーがなくなっても、何か別の形でも渡せる物を用意するよう改善を話し合いました。

## 被災者もスタッフで活動

炊き出しと合わせて、物資のお届けも行いました。冬のお届

けは、仮設住宅の集会所を借りて行います。この日も毛布や冬物衣料がどんどんはけていきます。以前と変化しているのは、仮設住宅に住んでいる方が何人もスタッフとして活動に参加していることです。感激しました。

## 山あいの仮設住宅は 移動も買い物も不便

22日は、遊学館仮設住宅に物資のお届けです。

この地域は、石巻中心地から車で40分ほど山中に入ります。不便な地域で170戸の仮設ですが、入居は100世帯あまりだそうです。買い物も不便、孤立した仮設住宅でした。集まった住民は60人ほどでした。

集会所でお届けバザーです。お米や野菜、日用品を渡します。港から持ち込んだ毛布はすべてお渡ししました。

仮設住宅の設置場所ももっと住む立場にたった建設が必要です。



集会所で物資のお届け



署名に応じる住民

## 緊急灯の設置を求める署名 長野・栄村は設置済み

要望の聞き取りとともに、「緊急灯・ブザー等設置を求める」署名も協力を呼びかけました。

この署名は、部屋の中で体調を崩したりした時に緊急灯、ブザーを設置することで、早期に発見し、対策をとれるようになるものです。見守りの活動と合わせて寒い冬の時期は特に大切です。長野県の栄村の仮設住宅ではすでに緊急灯・ブザーは設置済みです。ここでも宮城県対策が遅れています。

仮設住宅は、まだまだ物理的にも精神的にも政治が果たすべき仕事がたくさんあります。国や県に改善要望の実現を求めつつ、ボランティアの支援も今だからこそ必要なことがたくさんあります。



山あいの仮設住宅で活動終えて撮影 5センチ雪が積もりました